

消防部通信

第5回 はしご車搭乗・車両見学



令和5年(2023年)10月
西宮市立浜甲子園中学校
消防部

いよいよ今年度、鳴尾消防署で行う活動が最後となりました。今回は、3年生が1年生の時から楽しみにしていた、はしご車搭乗と、一般の人はなかなか見ることのできない、緊急車両の見学です。

はしご車搭乗

はしご車は最長で35メートル上まであがります。そのためフルボディハーネスという装置をつけて搭乗体験を行い、時間の関係などで、全員が搭乗することはできません。今回は3年生と2年生の一部が搭乗することができました。

はしご車は、1億8千万円もする超高級車で、西宮市には4台あります。その内の1台である鳴尾消防署のはしご車は、35m上まではしごが伸びます。マンションの13階くらいの高さです。

さらに、西宮中央消防署にあるはしご車は、なんと50mも伸びます！そんな高所で、消防士さんたちは、消火活動を行い、火災現場である建物に乗り移ったりするのです。

ヘルメットもしっかりかぶって！



上半身から下半身までしっかり守るフルボディーハーネス！



楽しみ～♪

緊張する～

何が見えるかな？

35mの旅へ
出発～！

準備ができれば、いざ搭乗です。ハーネスはしっかりバスケットに固定します。

はしごはするする伸びて、一気に35m上まで上がります。

うわっ
思ったより高い～

35m上では、顔もみえませんが、
誰が乗ってるのかな？

西宮市どころか、
大阪まで見える！

運動場で部活してる子や車が
米粒くらいの大きさに見える

車両見学

車両見学では、タンク車の中や側面についているホースを見ながら、説明をしていただきました。ホースは20mあり、火災現場によってはホースを繋いで長くします。車内には様々な器具があり、人が乗る部分は思っていたよりも狭かったです。



ホースって
重たい

消防車の中を
見るのは初めて

酸素ボンベは5kg
これを背負っての
作用は本当に大変!!

はしごの根元で、操縦し、上に
いる人と連絡を取り合います。

その後、はしご車の運転部分に乗せていただいたり、下の操縦部分から、35m上の搭乗者と会話をすることができました。まさに、消防部でなくてはできない体験ばかりです。感謝するとともに、あらためて、35mの高所で救助作業をしたり、緊急時に命がけでかけつける消防署の皆さんのすごさや大変さを感じました。